J

MusicCast WX-010

ワイヤレスストリーミングスピーカー

取扱説明書

ご使用前に「クィックマニュアル」に記載の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「〜しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告 **この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。**

電源/電源コード


必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。


プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- **異常なにおいや音がする。**
- **煙が出る。**
- **内部に水や異物が混入した。**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


禁止

電源コードを傷つけない。
- **重いものを上に載せない。**
- **ステープルで止めない。**
- **加工をしない。**
- **熱器具には近づけない。**
- **無理な力を加えない。**

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


必ず実行

必ずAC100V（50/60Hz）の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。


必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。
故障、発熱、火災などの原因になります。

分解禁止


分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置


水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
- **浴室・台所・海岸・水辺**
- **加湿器を過度にきかせた部屋**
- **雨や雪、水がかかるところ**

水の混入により、火災や感電の原因になります。


禁止

放熱のため本機を設置する際には:
- **布やテーブルクロスをかけない。**
- **じゅうたん・カーペットの上には設置しない。**
- **仰向けや横倒しには設置しない。**
- **通気性の悪い狭いところへは押し込まない。**

（本機の周囲に左右5cm、上5cm、背面5cm以上のスペースを確保する。）
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。


禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


必ず実行

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm 以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意


必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。


禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

お手入れ


必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード


プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。


禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。


必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。


禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。


禁止

電源コードは、布や布団でおおったり包んだりしない。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。


必ず実行

本機を完全に主電源から切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体の⏻キーでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

設置


禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。


禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。


禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。


必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。


必ず実行

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。


必ず実行

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。
突然大きな音が出たり感電したりすることがあります。

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



本機を大音量で長時間使用しない。
背面が熱くなり、火傷などのけがの原因になります。



環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。
説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。



ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。
色むらが起きることがあります。

お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く
感電の原因になります。



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

お手入れのしかた
キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

本機のスピーカーには磁石が使われています。磁気の影響を受けるもの（ブラウン管テレビ、時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなど）を本機の上や近くに置かないようにしてください。

音楽を楽しむエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。
音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

◆ 本書について

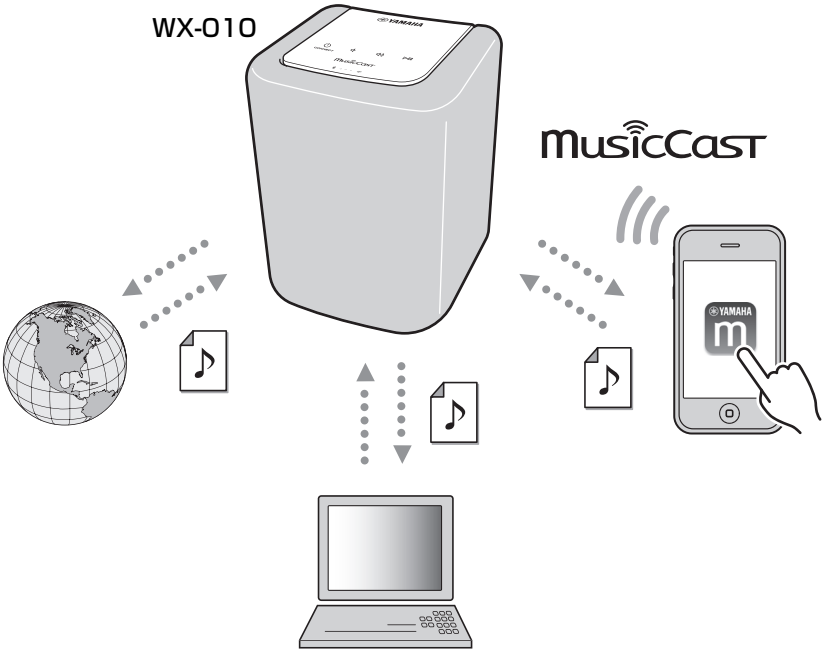
- 本文中の iPhone という表記は iPod/iPad も含みます。
- イラストについて
  取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。
- マークについて

ご注意 使用時の注意点や機能の制約が記載されています。

☀ 知っておくと便利な補足情報が記載されています。

☞ 関連情報が記載されているページです。

本機でできること



iPhone/Android™ 端末で快適操作＆ワイヤレス音楽再生

- 無料の専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」をインストールすると、お使いの iPhone/iPad/iPod touch や Android 端末でネットワーク設定をはじめ、各種設定や選曲動作が可能に。リモコンとしてもお使いいただけます。（☞ P. 7）
- Wi-Fi 機能搭載によりケーブルなしで無線ルーター（アクセスポイント）へ接続できます。

豊富な対応コンテンツを高音質で再生

- DLNA やインターネットラジオ（☞ P. 18）、radiko.jp、AirPlay、***Bluetooth*** の音を再生します。
- 2Way スピーカー、大型パッシブラジエーター、ヤマハ製 DSP（Digital Signal Processor）により、豊かなサウンドを実現。
- MP3 などの圧縮音源でも高音の伸びや中低音の厚み不足を解消。（Music Enhancer）

ステレオペア機能搭載

- 2 台の WX-010 を組み合わせ、ステレオ再生をお楽しみいただけます。

目次

◆ はじめに
付属品 2
各部の名称 3

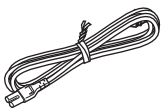
◆ 準備する
設置する 4
スピーカーを壁に掛ける 4
電源を入れる 5
ネットワークに接続する 6
MusicCast で簡単ホームオーディオ
ネットワーク 7
MusicCast CONTROLLER を使ってネットワークに接続する 7
iOS デバイスの設定を共有してネットワークに接続する 9

◆ 音楽を聴く
インターネットラジオを聴く 10
radiko.jp を聴く 10
パソコンや NAS の曲を聴く 11
音楽ファイルの共有設定をする 11
AirPlay で音楽を聴く 12
iTunes/iPhone で曲を再生する 12
AirPlay を解除する 12
Bluetooth 機器の音楽を聴く 13
本機と ***Bluetooth*** 機器をペアリングする 13
ペアリング済みの機器を ***Bluetooth*** 接続する 13
Bluetooth 接続を切断する 13
ワイヤレスヘッドホンで音楽を聴く 14

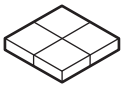
◆ その他の機能と情報
「ステレオペア」機能について 15
設定／音楽を再生する 15
ステレオペアを解除する 16
ファームウェアを更新する 17
オプション設定 17
補足情報 18
商標 18
故障かな？と思ったら 19
全般 19
MusicCast 19
ネットワーク 19
Bluetooth 21
お問い合わせの前にご確認ください 22
対応機器 / メディアとファイル形式 23
主な仕様 25

付属品

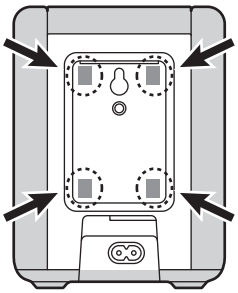
□ 電源コード



□ 防振パッド



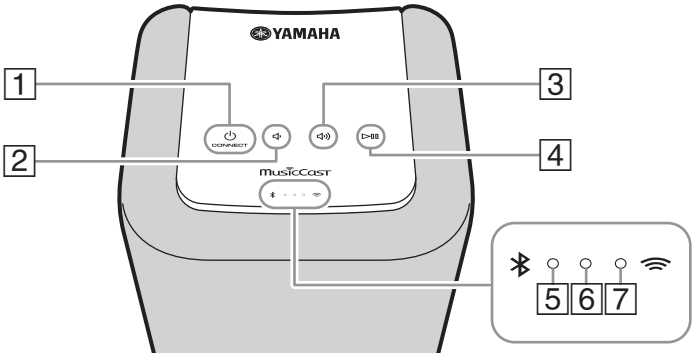
□ クイックマニュアル



音の振動が壁に伝わるのを防ぐために、防振パッドをリアパネルの四隅に付けてください。

各部の名称

■ トップパネル



1 ⏻(電源) /CONNECT（☞ P. 5、7）

2 🔉
音量を下げます。

3 🔊
音量を上げます。

4 ▷II
再生／一時停止します。

5 ***Bluetooth* インジケーター**
Bluetooth 接続中に点灯します。

6 Power インジケーター
電源オン中に点灯します。

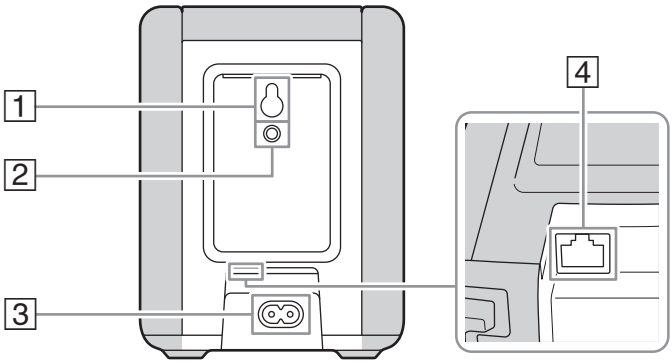
7 Wi-Fi インジケーター
無線（Wi-Fi）ネットワーク接続中に点灯します。

1、2、3、4 はタッチセンサーです。指先でマークをタッチすると反応します。

ご注意

ボリュームが最大／最小に達すると、3 つのインジケーター（5、6、7）が同時に 2 回点滅します。

■ リアパネル



1 **壁掛け用穴（☞ P. 4）**

2 **壁掛け金具用穴（☞ P. 5）**
市販の壁掛け金具を使って壁に取り付けるときに使用します。

3 **電源コード差込口（☞ P. 5）**

4 NETWORK 端子（☞ P. 6）
市販の LAN ケーブルを使ってネットワークへ接続します。

本機を Wi-Fi で使用する場合、LAN ケーブルの接続は不要です。

設置する

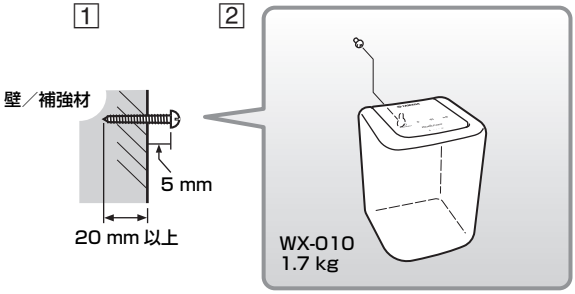
電源コードのプラグは設置完了後にコンセントへ差し込んでください。

ご注意

- スピーカーをブラウン管テレビの近くに設置すると画像の乱れや雑音が生じることがあります。そのような場合は、スピーカーとテレビを約 20 cm 離してください。液晶テレビやプラズマテレビには影響しません。
- 以下のことに注意して、安定した場所に設置してください。
  - 鉄板などの金属板の上には置かない。
  - 本機を布などで覆わない。

スピーカーを壁に掛ける

スピーカーを壁に掛けて使用することができます。



1 図のように、十分に強度のある壁または補強材に、市販のタッピングネジ（直径 3.5 ～ 4 mm）を取り付けます。
2 タッピングネジの頭にスピーカー背面の穴を掛けます。

ご注意

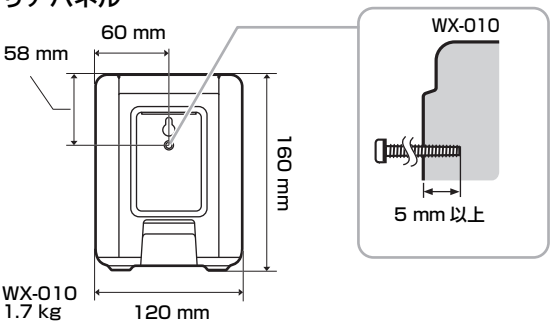
- タッピングネジが、穴の狭い部分に確実に入っていることをご確認ください。
- モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁には取り付けないでください。ネジが抜けて本機が落下すると、スピーカーの故障、けがの原因になります。
- スピーカーを釘や両面テープなどで取り付けないでください。長期の使用により、振動で釘がゆるんだり、両面テープがはがれてスピーカーが落下する危険性があります。
- 電源ケーブルなどにに手足を引っ掛けることのないように、ケーブルは必ず固定してください。
- 市販の取付金具を使って壁や天井に本機を設置する際は、落下防止のために本機と取付金具の間に市販の落下防止用ワイヤーをご使用ください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。安全性に不安がある場合は、専門の施工業者に取り付け工事をご依頼ください。
- 音の振動が壁に伝わるのを防ぐために、防振パッドをリアパネルの四隅に付けてください（☞ P. 2）。

■ 壁掛け金具などに取り付ける場合

市販の壁掛け金具などに取り付けてご使用いただけます。取り付けは、本機背面の壁掛け金具用穴をご利用ください。

☼
カメラの三脚などで使用されているユニファイねじに対応した壁掛け金具をお使ください。

リアパネル



取り付けネジ規格：
UNC 1/4-20

直径	6.35 mm
ネジ山	20（1 インチあたり）

ネジ穴仕様

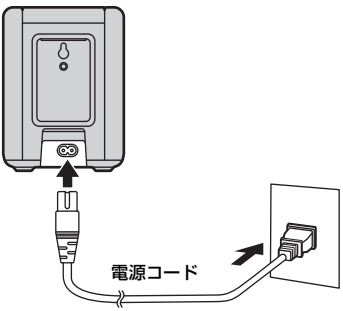
直径	6.35 mm
深さ	9 mm

ご注意

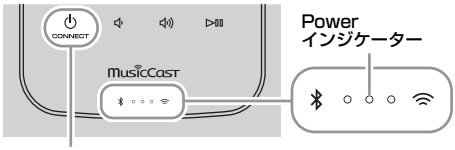
- 壁掛け金具を使用する場合は、必ず本機に対応する金具を使用してください。
- 壁掛け金具は耐荷重 4.5 kg 以上のものを使ってください。
- 壁掛け金具の説明書に記載されている指示に従ってしっかり正しく取付けてください。
- 不適切な取付あるいは対応外の壁掛け金具を使用すると、本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備、壁付金具の不具合などが原因で発生した事故による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。安全性に不安がある場合は、専門の施工業者に取り付け工事をご依頼ください。

電源を入れる

リアパネル



トップパネル



⏻（電源）/CONNECT をタッチする。

1 **⏻（電源）/CONNECT をタッチする。**
電源オンになり、Power インジケーターが点灯します。もう一度⏻（電源）/CONNECT をタッチすると電源オフ（スタンバイ）になり、Power インジケーターが消灯します。

ご注意

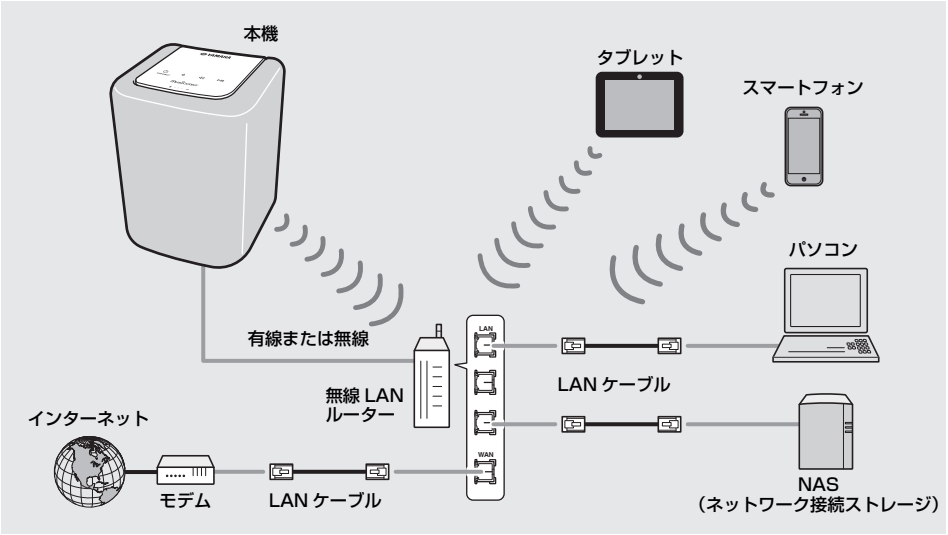
- 電源プラグをコンセントに差すと、約 10 秒間タッチセンサーの調整を行います。誤作動を防ぐため、電源プラグをコンセントに差した直後はタッチセンサー（⏻（電源）/CONNECT、🔉、🔊、▷II）に触れたり、再生操作をしないでください。

☼ **オートスタンバイ**

本機を電源オンにした後は、約 20 分間再生や操作を行わないと自動でスタンバイになります。
オートスタンバイの設定は、専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で変更できます（☞ P. 7）。
部屋の選択画面で⚙（設定）をタップして、設定を変更してください。

ネットワークに接続する

下図のように本機をネットワークに接続します。



- インターネットの接続については、お使いの接続機器に付属している取扱説明書をご覧ください。
- セキュリティソフトや、接続機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトや接続機器の設定を変更してください。
- 本機を LAN ケーブルで接続する場合、接続ケーブルは市販の STP ネットワークケーブル（CAT-5 以上のストレートケーブル）を使用してください。
- 専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で本機と他の接続機器が同じルーターに接続されているか、確認してください（☞ P. 7）。

MusicCast で簡単ホームオーディオネットワーク

MusicCast はご家庭の複数の部屋に設置したオーディオ機器で音楽を簡単に共有するための機能です。専用のモバイル端末アプリ「MusicCast CONTROLLER」で MusicCast 対応機器を操作し、インターネットラジオやパソコンや NAS などのサーバー、スマートフォンなどに保存された音楽を MusicCast 対応機器で同時に再生できます。MusicCast 対応機器については、ヤマハのウェブサイトをご覧ください。
http://www.yamaha.com/musiccast/

■ MusicCast CONTROLLER について

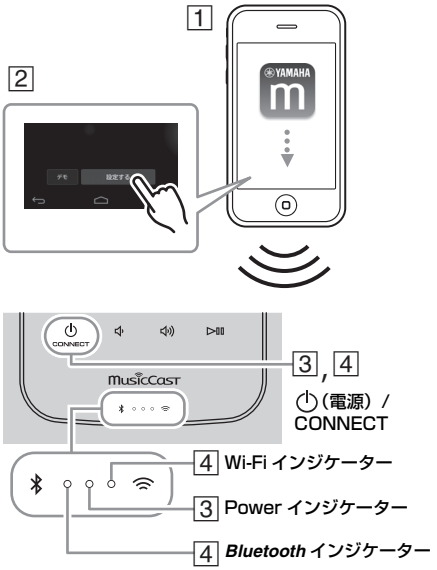
・主な機能
- 電源のオン / オフ、ボリューム調節などの基本操作
- 曲の選択や再生、停止
- 端末内の音楽再生
- インターネットラジオを聴く
- パソコンや NAS の曲を聴く
- AirPlay で音楽を聴く
- *Bluetooth* 機器の音楽を聴く
- イコライザーを使う
- スリープタイマーを使う
- ファームウェアを更新する

・使用条件
- 詳しくは、App Store または Google Play™ で「MusicCast CONTROLLER」を検索してください。
  ・アプリは iPhone/iPad/iPod touch と Android 機器に対応しています。詳しくは、各ストアに掲載された説明をご覧ください。
- 無線 LAN 環境

MusicCast CONTROLLER を使ってネットワークに接続する

■ モバイル端末（スマートフォン、タブレットなど）

本機をお使いになるには、モバイル端末用アプリ「MusicCast CONTROLLER」が必要です。



1 **専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」をモバイル端末にインストールする。**

2 **アプリを起動する。**
起動したら、「設定する」を選択します。

2 台目以降の MusicCast 対応機器を設定する場合は、部屋の選択画面で⚙（設定）をタップして、本機を新しい機器として登録してください。

3 **本機を電源オンにする。**
Power インジケーターが点灯します。

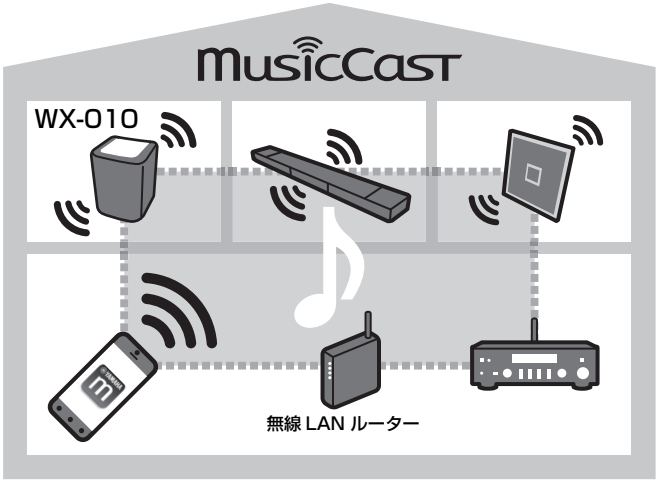
4 **本機の⏻（電源）/CONNECT を 5 秒以上タッチする。**
Wi-Fi インジケーターと *Bluetooth* インジケーターが速く点滅します。
アプリに表示されるガイドに従って設定してください。

5 **専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」に従って音楽を再生する。**

複数の SSID を持つルーターの場合は、「1 番」（Primary SSID、1st SSID など）の SSID を持つネットワークに接続してください。

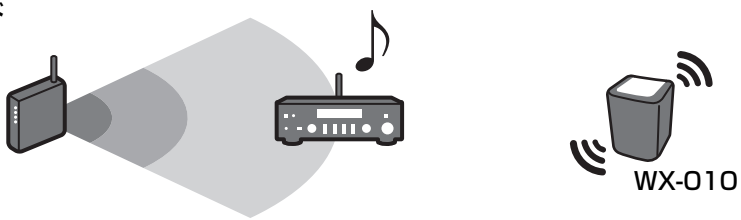
■ 機器の設定から再生まで

MusicCast CONTROLLER アプリを使って、以下のようなネットワーク（MusicCast ネットワーク）をつくります。

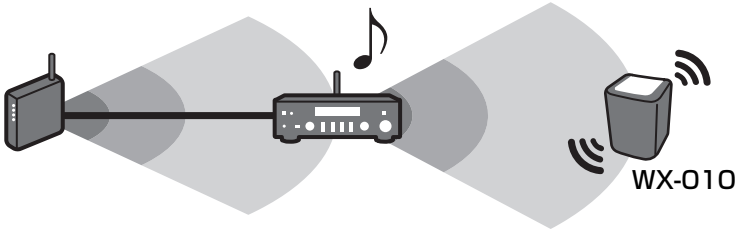


MusicCast 対応機器のうち 1 台を有線でルーターに接続すると、電波の届く範囲を広げる事ができます（拡張モード）。ルーターからの電波が届きにくい場所へ機器を設置する場合にお使いください。

通常モード



拡張モード



設置場所によっては、ハイレゾ音源（高解像度の音声データを持つ音源）を再生できないことがあります。その場合は、再生する MusicCast 対応機器を有線でルーターに接続してください。

iOS デバイスの設定を共有してネットワークに接続する

ご購入後、またはネットワーク設定を初期化した後にはじめて本機の電源を入れた時（☞ P. 17）、Wi-Fi インジケーターが点滅し、自動的に iOS デバイス（iPhone など）の検索を開始します。お手持ちの iOS デバイスのネットワーク設定を本機に適用して、簡単にネットワーク接続することができます。
設定を始める前に、お使いの iOS デバイスが無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に接続されていることを確認してください。

■ iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面を開き、「新しい AIRPLAY スピーカーを設定...」から本機を選ぶ。

- 以降は、iOS デバイスの画面の指示にしたがって操作します。
- 本機のすべての機能をお楽しみいただくためには、「MusicCast CONTROLLER を使ってネットワークに接続する」（☞ P. 7）に従って、接続の設定をしてください。

ご注意

- iOS7.1 以降を搭載した iOS デバイスが必要です。
- ご使用の無線 LAN ルーター（アクセスポイント）が WEP 暗号化されている場合は、iOS デバイスのネットワーク設定を共有してネットワークに接続できません。

インターネットラジオを聴く

インターネット上に配信されている世界中のラジオ放送を本機で聴くことができます。MusicCast CONTROLLER（☞ P. 7）を使って再生操作を行ってください。

- パソコンのウェブブラウザーで下記のウェブサイトにアクセスすると、新しいラジオ局をリストに追加するなどの vTuner の機能をご利用いただけます。
  http://yradio.vtuner.com/
  - インターネットラジオ局を登録する前に、本機でいずれかのインターネットラジオ局を再生してください。
  - 登録に必要なアカウントの作成には本機の vTuner ID と電子メールアドレスが必要です。vTuner ID は「MusicCast CONTROLLER」アプリの画面で確認できます。部屋の選択画面で⚙（設定）をタップして、本機の情報を確認してください。

radiko.jp を聴く

radiko.jp は、地上波ラジオ放送を CM も含めて同時にインターネットで配信する「IP （Internet Protocol）サイマルラジオ」サービスです。放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jp のウェブサイトをご覧ください。

- radiko.jp プレミアム（エリアフリー聴取）を利用すると、全国のラジオ局を受信できます。
- radiko.jp プレミアムを利用するには、radiko.jp のウェブサイトでプレミアム会員登録（有料）してください。登録後、モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」アプリからログイン名とパスワードを入力してください。

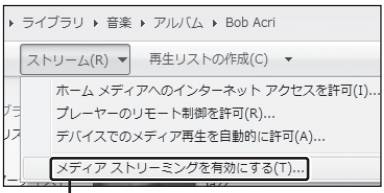
パソコンや NAS の曲を聴く

ネットワークにつないだパソコン（サーバー）や NAS 内の MP3 や WMA、FLAC（音質劣化のない可逆型音声圧縮方式）などの音楽ファイルを本機で再生できます。

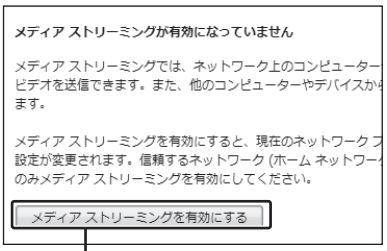
音楽ファイルの共有設定をする

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 11 以降）で音楽ファイルを共有する設定が必要です。ここでは、Windows Media Player 12（Windows 7）を例に説明します。

■ Windows Media Player 12 の場合



2 メディアストリーミングを有効にする（T）...



3 メディアストリーミングを有効にする

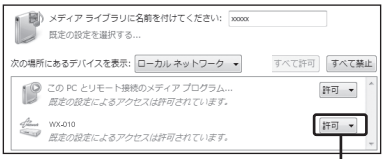
ここでは共有設定のみを説明しています。設定後は、お使いのパソコンで 通常通り Windows Media Player を操作して、再生してください。

1 **パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。**

2 **メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。**
パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。

3 **「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。**

4 **「WX-010」右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。**



4 許可

☀
リストに出てくる名前は、機器の名称（部屋の名前）です。部屋の名前は、アプリの部屋の選択画面にある⚙（設定）から変更できます。部屋の名前を設定していない場合は、「WX-010 ***」と表示されます（*** は任意の数字です）。

5 **「OK」をクリックして設定を終了する。**

☀
共有設定については、Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

◆ **Windows Media Player 11 を使う場合**

1 **パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。**

2 **「ライブラリ」から「メディアの共有」を選ぶ。**

3 **「メディアを共有する」をチェックし、「WX-010」アイコンを選んで「許可」をクリックする。**

☀
リストに出てくる名前は、機器の名称（部屋の名前）です。部屋の名前は、アプリの部屋の選択画面にある⚙（設定）から変更できます。部屋の名前を設定していない場合は、「WX-010 ***」と表示されます（*** は任意の数字です）。

4 **「OK」をクリックして設定を終了する。**

◆ **その他の DLNA サーバーソフトウェアがインストールされている PC または NAS の場合**
各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

AirPlay で音楽を聴く

AirPlay 機能を使って、iTunes や iPhone の音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。

iTunes/iPhone で曲を再生する

本機と iTunes/iPhone を操作して再生を始めます。

1

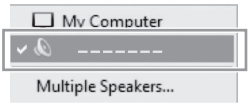


iTunes
（表示例）



iPhone iOS9
（表示例）

2



iTunes
（表示例）



iPhone iOS9
（表示例）

上記の “------” 部分に本機の部屋の名前が表示されます。

1 **本機の電源を入れ、iTunes を起動する、または iPod の音楽再生画面を表示する。**
iTunes/iPhone が本機を認識すると AirPlay アイコン（⍓）が表示されます。

2 **iTunes/iPhone で AirPlay アイコンをクリック（タップ）し、音声の出力先として本機（本機のルーム名）を選ぶ。**

3 **iTunes/iPhone を操作して曲を再生する。**
音楽ソースが自動で「AirPlay」に切替わり、再生が始まります（エコスタンバイ以外）。

AirPlay を解除する

iTunes/iPhone の画面で⍓をタップ / クリックし、スピーカーリストで本機以外の再生機器を選びます。または、「MusicCast CONTROLLER」で音楽ソースを AirPlay 以外に切り替えます。

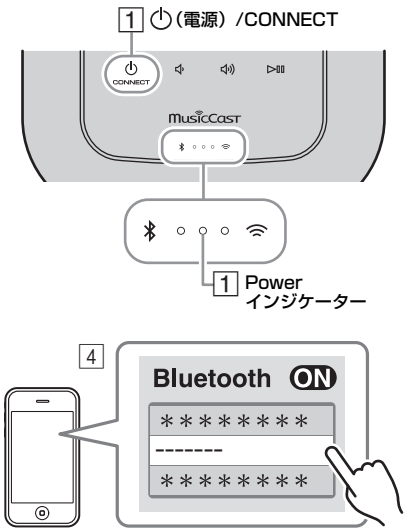
Bluetooth 機器の音楽を聴く

本機は *Bluetooth* 機能を搭載しています。*Bluetooth* 機器（スマートフォン、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。ご使用の際には、お使いの *Bluetooth* 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 通信を行う機器（*Bluetooth* プロファイル A2DP に対応したスマートフォン、デジタル音楽プレーヤーなど）と同じ部屋で、直線見通し距離が 10m 以内の場所に設置してください。
- *Bluetooth* 機器と本機との間に障害物が無いか確認してください。

本機と *Bluetooth* 機器をペアリングする

■ ペアリング（登録）



"-------" には、本機の部屋の名前が表示されます。

1 **本機を電源オンする。**
Power インジケーターが点灯します。

2 **接続機器（モバイル端末）の *Bluetooth* 機能をオンにする。**

3 **接続機器で *Bluetooth* のペアリングを行う。**
詳しくは接続機器の取扱説明書を参照してください。

4 **接続機器の *Bluetooth* 接続リストから本機（本機の部屋の名前 ☞ P. 11）を選ぶ。**

- 電源オンからペアリング完了までの操作は、5 分以内に行ってください。
- パスキーの入力を要求されたら、数字で「0000」を入力してください。

ご注意

接続機器でペアリングが完了していることを確認してください。ペアリングが成功しなかった場合は、手順 2 から操作をやり直してください。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

ペアリング済みの機器を *Bluetooth* 接続する

■ 接続機器から接続する

1 **接続機器の *Bluetooth* 設定で、*Bluetooth* をオンにする。**

2 **接続機器の *Bluetooth* 接続リストから本機（本機の部屋の名前 ☞ P. 11）を選ぶ。**
Bluetooth 接続が完了し、*Bluetooth* インジケーターが点灯します。

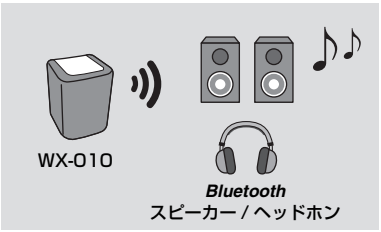
Bluetooth 接続を切断する

Bluetooth 接続中に以下のいずれかの操作を行なうと、*Bluetooth* 接続が切断されます。

- ⏻（電源）/CONNECT をタッチしてスタンバイにする。
- ▷▯▯を 3 秒以上長押しする。
- 接続機器から *Bluetooth* 接続を切断する。

ワイヤレスヘッドホンで音楽を聴く

本機で再生する音声を *Bluetooth* 対応のワイヤレスヘッドホンなどで聴くことができます。モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」アプリを使って、ワイヤレスヘッドホンに音声を送信します。



1 ***Bluetooth*** **機器（ワイヤレスヘッドホンなど）を、*Bluetooth* 接続待ちの状態にする。**

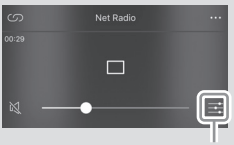
2 **「MusicCast CONTROLLER」の再生画面で ⚙ をタップする。**

3 **「*Bluetooth* 送信設定」をタップする。**

4 ***Bluetooth*** **機器（ワイヤレスヘッドホンなど）を選ぶ。**
接続が完了すると、*Bluetooth* インジケーター（☞ P. 3）が点灯します。

5 **「完了」をタップする。**
送信先の *Bluetooth* 機器（ワイヤレスヘッドホンなど）から音が出ます。

2



タップする

3



タップする

4



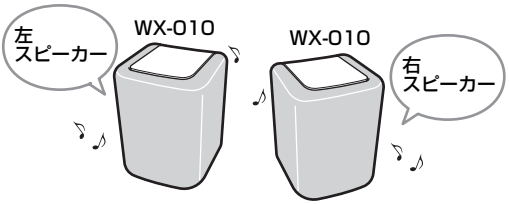
ご注意

- A2DP プロファイルに対応した *Bluetooth* 機器をお使いください。
- AirPlayや*Bluetooth*機器の音声を他の*Bluetooth*機器に送信して聴くことはできません。

- 本機からも再生音が出ます。
- 「MusicCast CONTROLLER」の画面は iPhone の表示例です。
- ご使用の際には、*Bluetooth* 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

「ステレオペア」機能について

本機を 2 台使用して、1 台を左スピーカー、もう 1 台を右スピーカーとしてステレオ再生をお楽しみいただけます。
以下の手順に沿って、左右別々にスピーカーの設定をしてください。



ご注意

- ステレオペアをご利用いただくには、WX-010 が 2 台必要になります。
- ステレオペアはネットワークスタンバイ (☞ P. 17) が有効の場合のみお使いいただけます。

設定／音楽を再生する

1 専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用して、2 台の WX-010 を同じネットワークに接続する。
ほかの MusicCast 機器とリンクしている場合は、専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用してリンクを解除してください。

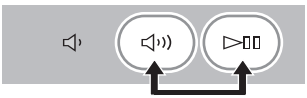
2 ⏻(電源) /CONNECT をタッチし、各スピーカーをスタンバイにする。

3 各 WX-010 で 3 秒間、以下のように同時にタッチして、右／左スピーカーを設定する。

① **左スピーカーに設定する場合：**🔈と▷▯▯
インジケーターが右から左へ流れるように点灯を繰り返し（参照：表Ⓐ）、接続スタンバイになります。



② **右スピーカーに設定する場合：**🔊と▷▯▯
インジケーターが左から右へ流れるように点灯を繰り返し（参照：表Ⓑ）、接続が開始されます。



ステレオペア使用時のインジケーター表示

ステレオペアの状態	インジケーター表示
接続開始 / 左・右スピーカーの確認	Ⓐ 左スピーカー　Ⓑ 右スピーカー 右から左へ点灯　左から右へ点灯
接続完了	Ⓒ 中央から外側へ点灯

接続が完了するとインジケーターが中央から外側に向けて点灯し（参照：表Ⓒ）、通常状態に戻ります。

4 専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用して再生する。

- どちらが左または右スピーカーかは、専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で確認できます（インジケーター点灯：表Ⓐ、Ⓑ参照）。
- ステレオペア使用中は、左右いずれかのスピーカーで電源オフや音量調整などの操作を行うと、もう一台のスピーカーと操作が連動します。
- 接続先が見つからないまま約 5 分経過すると、接続スタンバイは自動的に解除されます。
- ステレオペアモードのとき、オプション設定の「本機を初期化する」(☞ P. 17) 以外の項目は設定できません。

ご注意

本機をスタンバイにしたり、電源プラグを抜き差しした場合もステレオペアの設定は継続します。

ステレオペアを解除する

1 ⏻（電源）/CONNECT をタッチし、左右のスピーカーをスタンバイにする。

2 左右いずれかのスピーカーで🔈（または🔊）と⏯を同時に 3 秒間タッチする。

インジケーターが外側から中央に向けて点灯し、ステレオペアが解除されます。

インジケーター表示



外側から中央へ点灯

ご注意

- ステレオペアの解除は、スタンバイ中にのみ動作します。
- 左右いずれかのスピーカーのステレオペアを解除すると、もう一方も自動で解除されます。
- 解除を行う時点で、片方のスピーカーがネットワークから切断されていた場合は、両方のスピーカーのステレオペアを解除してください。

ファームウェアを更新する

本機がインターネットに接続されている場合のみ、ファームウェアを更新できます（☞ P. 7）。
専用アプリ「MusiceCast CONTROLLER」のガイドに従って、更新してください。
ファームウェアの更新中は、進行状況にあわせて以下の順にインジケーターが点滅します。

インジケーター表示



左から順番に点滅

更新完了：すべてのインジケーターが点灯し、自動的に本機がスタンバイになります。
更新失敗：すべてのインジケーターが点滅します。コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約 30 秒後に再度差し込んでから、再び更新してください。

ご注意

- ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。
- この間は電源オフ（スタンバイ）にしないでください。

- ファームウェアの更新は、アプリで告知されます。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、ワイヤレスネットワークアダプターを介して本機を無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。

オプション設定

本機をスタンバイにし、◁)と◁))を 5 秒間長押しすると、オプション設定モードになり、以下の設定ができます。*1

項目	操作
本機を初期化する	⏻**(電源) /CONNECT** を 3 秒間長押ししてください（☞ P. 3）。
ネットワークスタンバイを有効 / 無効にする *2	◁))を 3 秒間長押しすると、ネットワークスタンバイが無効になります（エコスタンバイ）。有効にするときは、同じ操作を繰り返してください。 有効：Power インジケーターが 2 回点滅後、点灯します。 無効：Power インジケーターが 2 回点滅後、消灯します。
Wi-Fi を無効にする	▷▯▯を 3 秒間長押しすると、Wi-Fi が無効になります。Wi-Fi インジケーターが 2 回点滅後、消灯します。 Wi-Fi 機能を有効にするには、「MusicCast CONTROLLER を使ってネットワークに接続する」（☞ P. 7）の手順にしたがって、本機をネットワークに再接続してください。
***Bluetooth* を有効 / 無効にする**	◁)を 3 秒間長押しすると、*Bluetooth* が無効になります。有効にするときは、同じ操作を繰り返してください。 有効：*Bluetooth* インジケーターが 2 回点滅後、点灯します。 無効：*Bluetooth* インジケーターが 2 回点滅後、消灯します。

＊ 1：10 秒間どのボタンもタッチしない状態が続くと、オプション設定モードは自動的にキャンセルとなります。
＊ 2：ネットワークスタンバイとは、ネットワーク接続が有効になるスタンバイ状態です。

エコスタンバイ

ネットワークスタンバイを無効にすると、インジケーターの表示やネットワーク /*Bluetooth* 機能を停止して、スタンバイ時の待機電力を最小に抑えられます。
エコスタンバイ時は、アプリで本機を起動したり、ステレオペア機能を設定することはできません。本機の⏻**(電源) /CONNECT** で電源オンにしてから操作してください。

補足情報

■ DLNA

どんなサーバーを使えば DLNA で音楽ファイルのブラウズや再生ができますか？

以下のような DLNA 対応のサーバーをご使用ください。

Windows Media Player 12 またはWindows Media Player 11 が稼動する PC

本機で PC のフォルダ（ディレクトリ）をブラウズするには、あらかじめ Windows Media Player 12 または Windows Media Player 11 の共有設定で、該当フォルダを本機からアクセス可能な状態にしておく必要があります。Windows Media Player について詳しくは、マイクロソフト社にお問い合わせください。

■ iTunes

WX-010 で iTunes ライブラリの曲を再生できますか？

AirPlay をお使い下さい。（☞ P. 12）

■ インターネットラジオ

自分で見つけたインターネットラジオ局をリストに追加できますか？

「vTuner Internet Radio」ウェブサイトで、リストにないインターネットラジオ局を自分で追加できます。この機能を使うには、以下の URL にアクセスしてアカウントを取得してください。

http://yradio.vtuner.com/

アカウントの取得には、vTuner ID とメールアドレスが必要になります（☞ P. 10）。

聴かないインターネットラジオ局をリストから削除できますか？

vTuner のリストそのものを削除することはできません。「vTuner Internet Radio」ウェブサイトにアクセスし、追加したラジオ局を削除できます。

商標

MusicCast

MusicCast はヤマハ株式会社の商標です。

Bluetooth®

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、*Bluetooth* SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ヤマハ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth プロトコルスタック（Blue SDK）

© 1999-2014 OpenSynergy GmbH
All rights reserved. All unpublished rights reserved.

dlna CERTIFIED™

DLNA ™ および DLNA CERTIFIED ™ はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

Windows ™

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android ™　Google Play ™

Android および Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。

Wi Fi CERTIFIED

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

GPL/LGPL について

本製品は、GPL/LGPL ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様は GPL/LGPL ライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。GPL/LGPL ライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPL ライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

http://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/

radiko.jp
IP Simulcast Radio

「ラジコ」、「radiko」および radiko ロゴは株式会社 radiko の登録商標です。

AirPlay

AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。
iPad Air、iPad mini は Apple Inc. の商標です。
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または巻末の「お問合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
電源が入らない、タッチセンサーが反応しない。	本機起動中（本機は電源コードをコンセントに差してから約 10 秒間タッチセンサーの感度を調整しています）に指先がタッチセンサー部に触れていた。	起動完了までタッチセンサー部は触らずにお待ちください。本機起動完了してから電源センサーに触れてください。（☞ P. 3）本機が完全に起動してから、⏻**（電源）/CONNECT** をタッチしてください。
電源を入れてもすぐに切れる。正常に動作しない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。
本機を操作できない。	外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約 30 秒後に再度差し込んでください。
スピーカーから音が出ない。	再生したい音楽ソースが正しく選ばれていない。	専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用して再生したい音楽ソースを選び直してください（☞ P. 7）。
	音量が最小またはミュートになっている。	音量を大きくしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。

MusicCast

症状	原因	対策
MusicCast CONTROLLER で接続の設定ができない。	モバイル端末がご家庭のルーターに接続されていない。	モバイル端末をルーターに接続した後、MusicCast CONTROLLER で設定してください。
		モバイル端末のモバイルデータ通信を無効にしてください。
	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてください。

ネットワーク

症状	原因	対策
モバイル端末の専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で本機が検出されない。	本機とモバイル端末が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
	お使いのモバイル端末が、マルチ SSID 対応のルーターのセカンダリに接続されている。	セカンダリに接続されている場合、プライマリ SSID や有線 LAN に接続している機器へのアクセスが制限されます（インターネットへのアクセスのみ可能）。プライマリに接続してください。
	使用している接続機器間で、複数のルーター（2重ルーター）が接続されている。	一時的にインターネット接続を外し、ローカルネットワークを確認し、使いたい接続機器を同じルーターに接続してください。
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。	ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。
	本機が起動中である（電源コードをコンセントに差してから約 10 秒間かかる）。	本機が起動完了してからネットワーク機能をご使用ください。

症状	原因	対策
再生が停止してしまう（連続して再生できない）	本機が再生できないファイルが存在する。	再生するフォルダーには、本機が再生できないファイル（画像ファイルや隠しファイルなどを含む）を入れないでください。
モバイル端末の専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」でパソコンが検出されない。	メディアの共有設定が正しくない。	本機がパソコンのフォルダにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください（☞ P. 11）。
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	セキュリティソフトの設定をご確認ください。
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
	お使いのパソコンが、マルチ SSID 対応のルーターのセカンダリに接続されている。	セカンダリに接続されている場合、プライマリ SSID や有線 LAN に接続している機器へのアクセスが制限されます（インターネットへのアクセスのみ可能）。プライマリに接続してください。
	使用している接続機器間で、複数のルーター（2 重ルーター）が接続されている。	一時的にインターネット接続を外し、ローカルネットワークを確認し、使いたい接続機器を同じルーターに接続してください。
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音は出ません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	ルーターなど接続機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。
ネットワーク経由によるファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。
無線ルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
	本機と無線ルーター（アクセスポイント）との距離が離れすぎている。	本機と無線ルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください（☞ P. 6）。
	本機と無線ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。	本機または無線ルーター（アクセスポイント）を間に障害物がない場所に設置してください（☞ P. 6）。
モバイル端末の専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で無線ネットワークが見つからない。	電子レンジやその他の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。	無線接続で本機を使用するときは、電磁波が発生する機器を近くで使用しないようにしてください。
	無線ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。
AirPlay 使用時、iPhone から本機を認識できない。	マルチ SSID 対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPhone は本機へのアクセスが可能な SSID に接続してください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	接続機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
	Bluetooth アダプターなどの機器でパスキーが「 0000 」以外になっている。	パスキーが「 0000 」の接続機器をご使用ください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機に近づけてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	本機がスタンバイになっている。	本機を電源オンしてから、ペアリング操作をしてください。（☞ P. 13）
	すでに他の *Bluetooth* 機器と接続している。	接続中の機器をいったん切断してから、ペアリングしてください。
	本機の *Bluetooth* 機能が無効になっている。	本機の *Bluetooth* 機能を有効にしてください（☞ P. 17）。
***Bluetooth* 接続ができない。**	本機が接続機器の *Bluetooth* 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行なってください。（☞ P. 13）
	本機がエコスタンバイモードになっている。	本機を電源オンしてから *Bluetooth* 接続をしてください。（☞ P. 13）
	他の *Bluetooth* 機器が接続されている。	現在接続中の *Bluetooth* 機器をいったん切断してから、接続し直してください。
	接続機器の *Bluetooth* 設定がオフになっている。	接続機器の *Bluetooth* 設定をオンにしてください。
	ペアリング情報が消えた。	*Bluetooth* 機器側で本機とのペアリング履歴を削除し、再度本機とペアリングしてください。（☞ P. 13）
音が出ない、または音が途切れる。	本機と接続機器との *Bluetooth* 接続が切断された。	接続し直してください。（☞ P. 13）
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機に近づけてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	接続機器の *Bluetooth* 設定がオフになっている。	接続機器の *Bluetooth* 設定をオンにしてください。
	接続機器が *Bluetooth* 信号を本機に送っていない。	接続機器の *Bluetooth* が正しく設定されているか確認してください。
	接続機器の出力切替が本機になっていない。	接続機器の出力切替を本機にしてください。
	接続機器の音量が最小になっている。	接続機器の音量を上げてください。
	2 台以上の *Bluetooth* 機器と接続されており、接続機器上で本機（WX-010）が再生機器として選択されていない。	本機を接続機器の再生機器として選択してください。

お問い合わせの前にご確認ください

お問い合わせの際に、使用環境に関する下記の情報が必要になります。事前にご確認をお願いいたします。

対象	確認内容
本機（WX-010）	ファームウェアのバージョン ※ 最新バージョンのファームウェアを使用してください（☞ P. 17）。 問題を解決できる場合があります。
専用アプリケーション （MusicCast CONTROLLER）	アプリケーションのバージョン ※ 最新バージョンのアプリケーションを使用してください。 問題を解決できる場合があります。
ルーター	メーカー / モデル名（型番）
パソコン	• メーカー / モデル名（型番） • OS バージョン • メディアサーバーの種類 （Windows Media Player など）
NAS	• メーカー / モデル名（型番） • ファームウェアのバージョン （NAS に付属の設定アプリケーションなどで確認できます）
ネットワーク全体	• 本機と同じネットワークに接続している機器の種類 • 各機器の接続方法（有線 / 無線など） • モバイル端末のメーカー / モデル名（型番）、OS バージョン
音声ファイル	• 音声フォーマット（WAV、FLAC など） • サンプリング周波数 / 量子化ビット数（例：44.1kHz/16bit） • ファイルの入手元（CD リッピングまたはダウンロードサイト名）

対応機器 / メディアとファイル形式

■ ファイル形式

本機に対応しているファイル形式は以下の通りです。

ファイル	サンプル周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート	チャンネル数	ギャップレス再生
WAV (PCM フォーマットのみ)	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	—	2	✔
MP3	32/44.1/48	—	～320 kbps	2	—
WMA	32/44.1/48	—	～320 kbps	2	—
MPEG-4 AAC	32/44.1/48	—	～320 kbps	2	—
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	—	2	✔
ALAC	32/44.1/48/ 88.2/96	16/24	—	2	✔
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	—	2	✔

- FLAC ファイルを再生するには、パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトが、DLNA を使った FLAC ファイルの共有に対応している必要があります。
- DRM（デジタル著作権管理）により保護されたファイルは再生できません。

■ パソコン

以下のソフトウェアがインストールされたパソコン。
- Windows Media Player 11 ／ Windows Media Player 12

■ NAS

DLNA バージョン 1.5 に対応した NAS。

■ AirPlay

Wireless Accessory Configuration は iOS 7 以降で動作します。
AirPlay は iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した Mac と PC において動作します（2016 年 7 月現在）。

Bluetooth について

Bluetooth とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- *Bluetooth* 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。*Bluetooth* 対応機器は同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本書はすべての *Bluetooth* 対応機器との無線接続を保証するものではありません。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機の無線方式について

（Wi-Fi）



「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」.....変調方式は DS-SS および OFDM 方式
「4」..... 想定干渉距離が 40 m 以内



.... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

（***Bluetooth***）



「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」.....変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
「1」..... 想定干渉距離が 10 m 以内



.... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機器を搭載しています。

製品ラベルは本体の底面に掲示してあります。

主な仕様

■ プレーヤー

ネットワーク

- イーサネット・インターフェース 100Base-TX/10Base-T
- インターネットラジオ ..... vTuner 対応
- PC クライアント機能..... DLNA Ver. 1.5 (DMR) 対応
- 再生フォーマット
  .....WAV, FLAC, AIFF（192KHz/24bit）
  ..... ALAC（96KHz/24bit）
  .....MP3, WMA, MPEG-4 AAC（48KHz/-）
- AirPlay..... AirPlay 対応

Wi-Fi

- 無線 LAN 規格..... IEEE 802.11 b/g/n
- 無線周波数 2.4GHz
- 対応セキュリティー
  ..... WEP, WPA2-PSK(AES), Mixed Mode

■ *Bluetooth*

- *Bluetooth* バージョン..... Ver. 2.1+EDR
- 対応プロファイル.....A2DP、AVRCP
- 対応コーデック
  .....Sink: SBC、AAC
  .....Source: SBC
- 動作モード .....Sink または Source
- 無線出力.....*Bluetooth* Class 2
- 最大通信距離 ..... 10 m（障害物が無いこと）
- 対応コンテンツ保護..... SCMS-T 方式 (Sink)

■ 総合

- 電源電圧 / 周波数..... AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力 .....8 W
- 待機時消費電力
  ネットワークスタンバイオフ /*Bluetooth* スタンバイオフ
  .....0.2 W
  ネットワークスタンバイオン /*Bluetooth* スタンバイオフ
  ..... a) 有線：1.8 W
  .....b) 無線（Wi-Fi）：2.0 W
  ネットワークスタンバイオン /*Bluetooth* スタンバイオン
  ..... a) 有線：1.8 W
  .....b) 無線（Wi-Fi）：2.0 W
- 質量 .....1.7 kg
- 外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）
  .....120 mm × 160 mm × 130 mm

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） 0570-011-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

■ ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-012-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセイビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証期間
製品に添付されている保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1

Manual Development Department
© 2016 Yamaha Corporation

2016 年 7 月発行 AM-A0

WX-010OM/J/ja